

週間漁海況情報—第22号

平成28年6月7日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温

右に、6月6日時点の海況図を示した。

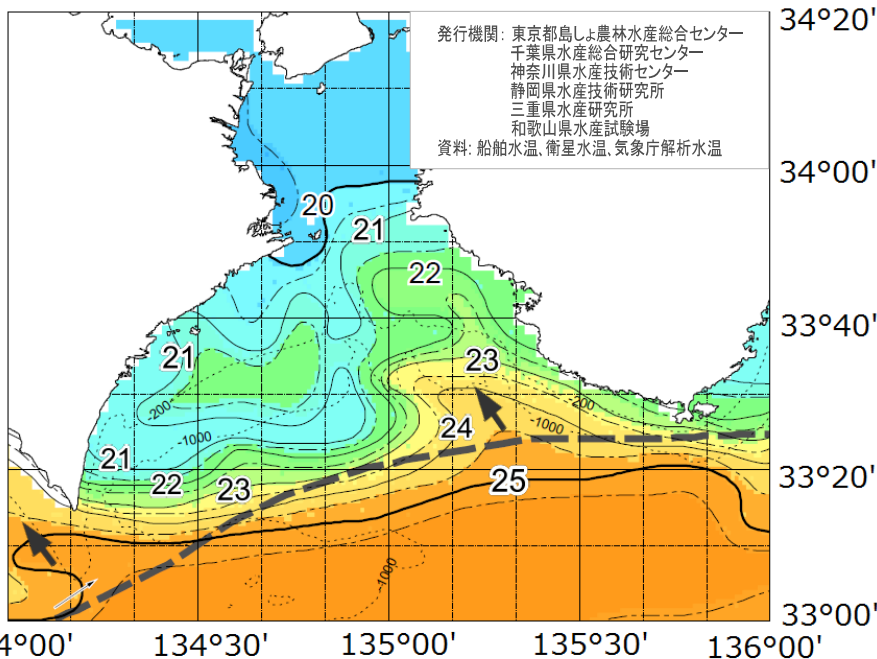
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸（前週接岸）、潮岬沖で接岸（同やや離岸）している。

黒潮本流の表面水温は23℃～25℃台である。

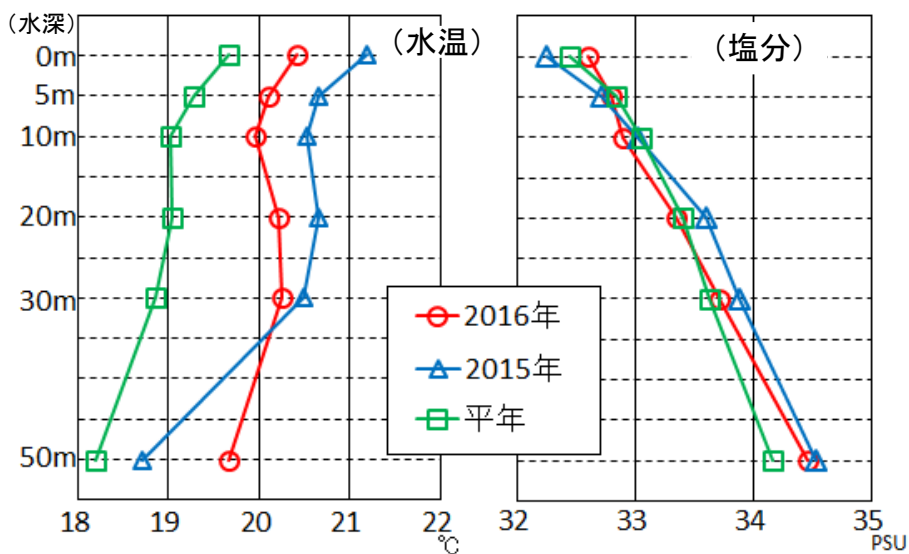
紀伊水道外域では、和歌山沿岸で暖水の流入が見られる。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道で19℃～20℃台、海部沿岸では20℃～21℃台である。

6月1日、3日および6日に紀伊水道でおこなった海洋観測では、水温は全水深でやや高め、塩分は平年並みであった(右下グラフ)。



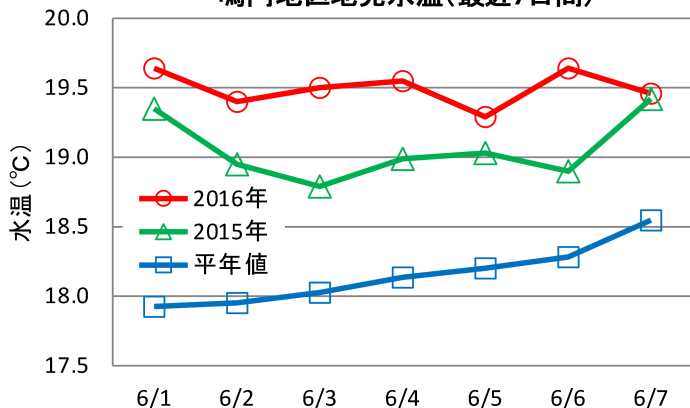
紀伊水道の観測結果



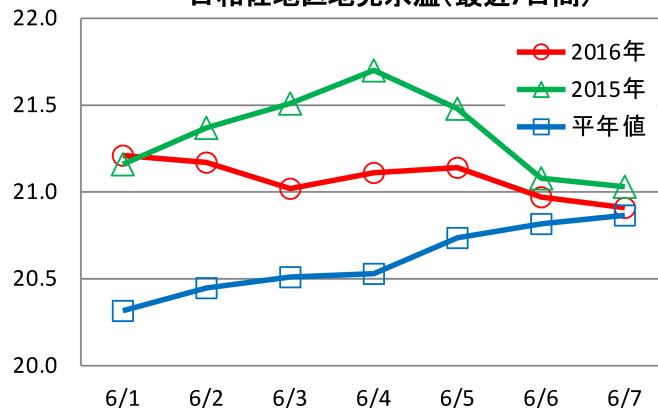
2. 地先水温

最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「高め」～「やや高め」の19.3℃～19.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の20.9℃～21.2℃、牟岐地区は「やや高め」の21.0℃～21.9℃であった。梅雨入りの影響もあり、鳴門地区、日和佐地区ではほぼ横ばい、牟岐地区では期間前半は横ばい、後半は下降のち上昇した。

鳴門地区地先水温(最近7日間)



日和佐地区地先水温(最近7日間)



3. 週間予報

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の19℃台、日和佐地区は「平年並み」の21℃台で推移する見込み。

漁況 5月30日～6月5日

1. 紀伊水道(標本漁協:3)

船びき網の漁獲が増えたため、全体の漁獲量は大きく増えた。船びき網以外は前週並み。
 船びき網では、シラスが前週から増えて61.6ト水揚げされた。
 釣りでは、イサキが大きく増えて大主体に0.7ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが前週並みの4.2ト、タチウオが大きく増えて特大主体に1.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、小小主体のマアジが増えて1.0ト水揚げされた。
 底びき網は、ハモが大きく増えて1.6ト、いとより類が0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協:4)

全体の漁獲量は減った。
 延縄では、アカムツが減って0.5ト水揚げされた。
 小型定置網、大型定置網のいわし類の水揚げは一段落した模様。
 小型定置網では、いずれも前週より減ってマイワシが2.9ト、ウルメイワシが0.4ト、小小主体のマアジが0.4ト水揚げされた。
 大型定置網では、いわし混ざりが減って9.0ト、マルソウダ、特大主体のマアジが大きく増えてそれぞれ2.5トと1.9ト、ヒラソウダが増えて0.8ト水揚げされた。なお、いわし混ざりはマイワシが主体で、ほかにキビナゴ、マアジ(小小)、ネンブツダイなどが含まれる。

漁獲量集計表(漁獲量の多いものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	116	シラス	61,625	531		↗
	釣り	22	イサキ	704	32	大主体	↗↗
	延縄	45	ハモ	4,204	93	中主体	→
			タチウオ	1,217	27	特大主体	↗↗
	小型定置網	20	マアジ	964	48	小小主体	↗
	底びき網	24	ハモ	1,641	68	中主体	↗↗
いとより類			262	14		↗	
海部沿岸	延縄	20	アカムツ	547	27		↘
	小型定置網	19	マイワシ	2,903	153		↘
			ウルメイワシ	431	17		↘↘
			マアジ	381	10	小小主体	↘
	大型定置網	10	いわし混ざり	8,975	898		↘
			マルソウダ	2,547	255		↗↗
			マアジ	1,887	189		↗↗
			ヒラソウダ	816	82	大主体	↗
			イサキ	361	36		↘↘
			マルアジ	283	28	中主体	→
			まぐろ類	219	22		↗↗
			イボダイ	216	22	小主体	↗↗
とびうお類			215	21	大主体	↘	
マダイ	215	21		→			

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%~200%:↗、80%~120%:→、50%~80%:↘、前週比50%未満:↘↘